

CSR ANTENNA

子供の日を前に、博愛康健園を慰問



5月28日に現法社員のボランティア5名が博愛康健園を訪問し、国際子供の日(6月1日)を祝福するため、子供たちに図書やハンカチ等を贈呈致しました。

博愛康健園は1996年4月1日に設立された上海で最も歴史のある民営NPO法人で、知能障害及び自閉症の子供に対しリハビリと教育サービスを提供しています。香港から「誘導式教育」システムを積極的に取り入れ、中国の漢方を融合することによって、リハビリだけではなく教育、看護サービスを総合的に提供しています。今回は、当現法が博愛康健園へのボランティア活動を始めてから二回目の訪問となり、前回訪問時からわずか半年しか経っていませんが、子供たちは身長が伸びたり体力が改善されたりと、その成長の早さに驚かされました。

先生のご説明によると、上海市トップの韓正書記が来園視察したこともあり、最近では当社のように知的障害や自閉症の子供たちの支援に関心のある企業がますます多くなっているとのことです。現在、15歳以下の30数名の子供たちが同学校で関連サービスを受けていますが、設備費用がかかる現状下では、各企業から贈呈される文房具等は役に立っており、また、子供たちの励みにもなっています。一人っ子政策の反動から少子高齢化へと進む中国社会。未来を担う大事な子供たちには、政府や国レベルのサポートだけではなく、我々民間企業も含め社会各方面の理解と協力が不可欠と思われまます。子供達が早く回復し元気に成長できることを祈ります。



韓正書記が来園視察



先生が園内施設等を説明



認知授業を受ける子供達

CSR ANTENNA



儿童节前夕慰问博爱康健园

5月28日下午，公司志愿者团队的5名成员前往博爱康健园，在6月1日国际儿童节前夕，给这里的脑瘫及自闭症儿童赠送书籍手绢等礼物，送去了节日祝福。

博爱儿童康健园创建于1996年4月1日，是上海最早实行并倡导对脑瘫儿童进行运动康复与教育并举的民办非营利残疾儿童康复机构，在香港复康会世界卫生组织协作中心技术支持下，率先推广国际康复领域实行的“引导式教育”体系，与中国传统医学相结合，建立了对脑瘫儿童实行康复、教育、护理为一体的社区康复的组织模式。此次是与博爱康健园结缘后，自去年圣诞节首次慰问之后的第二次慰问活动。与半年前相比，看到在康健园接受康复训练的小朋友们都有成长，在体能和康复情况都有了进步。

据老师的介绍，现在类似我公司这样关注脑瘫和自闭症儿童的企业愈来愈多，在儿童节前来慰问的企业络绎不绝。上海市委书记韩正也曾访问过康健园。现在，共有30多名15岁以下儿童在此接受康复训练，社会各界的的赞助和慰问确实对改善教学环境和激励孩子方面起到了积极作用。中国已经进入老龄化社会，且实施多年的独生子女政策导致儿童数量趋少，孩子关系到国家未来，关爱孩子不仅是国家和政府的事，像我司这样的民间企业和社会各界都应给予理解和援助。衷心希望这些特殊群体的小朋友们能够在老师的指导和训练中身体早日康复，在全社会的关爱下茁壮成长。



韩正访问康健园



老师对康复设施进行讲解



接受认知训练